

第117回 経営協議会（定例）議事要旨

日 時 令和元年11月28日（木）13:27～15:25
場 所 事務局特別会議室（4階）

議題1. 土地の一部譲渡処分（売払）について（資料1）

報告事項1. 平成30年度に係る業務の実績に関する評価結果等について（資料2）

報告事項2. 本学教育研究評議会での審議事項等について（資料3）

報告事項3. 記者発表事項等について（資料4）

協議事項1. 鹿児島大学病院について

（1）病院経営の状況について（資料5）

（2）病院機能評価（第三者評価）について（資料6）

その他

[出席委員] 13名

佐野学長

（理事）馬場、越塩、岩井、武隈、山木

（学内委員）夏越

（学外有識者）池田、坪内、津曲、福元、宮原、山野

[欠席委員] 2名

（学外有識者）岩切、月野

[オブザーバー]

（理事）萩元

（監事）伊牟田、押越

（副学長）森、渡邊

（学部長等）高津、上谷、岡村、河野、木下、橋本、佐久間、宮本、本間、於保、宇都宮、靱井

（副病院長等）坂本、宇都、杉浦

議題1. 土地の一部譲渡処分（売払）について（資料1）

学長から、土地の一部譲渡処分（売払）について諮られ、山木理事から、本学が所有する佐多演習林の土地の一部を鹿児島県に譲渡処分（売払）する旨資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

報告事項1. 平成30年度に係る業務の実績に関する評価結果等について（資料2）

岩井理事から、国立大学法人評価委員会より、平成30年度に係る業務の実績に関する評価結果等の通知があった旨資料に基づき説明があった。

報告事項2. 本学教育研究評議会での審議事項等について（資料3）

学長から、本学での動向等を把握していただくために教育研究評議会での審議事項等を添付している旨説明があった。

報告事項 3. 記者発表事項等について（資料 4）

学長から、本学の最近の主な記者発表事項等の記事を添付している旨の説明があった。

協議事項 1. 鹿児島大学病院について

(1) 病院経営の状況について（資料 5）

(2) 病院機能評価（第三者評価）について（資料 6）

学長から、今回の協議事項は、4月に協議いただいた鹿児島大学病院の稼働状況等について、重要事項のため再度提案した旨説明があり、引き続き、夏越病院長から、病院経営の状況及び病院機能評価（第三者評価）について、資料に基づき説明があった。

説明の後、各委員から次のような意見等があった。

- ① 直近の病床稼働率の目標が 95%で、高度急性期の医療機関として数字が高過ぎないか。歯科の医療収支は黒字なのか、赤字なのか。今後、非常に多額の返済に迫られ大学全体が楽な見通しでないので医科と歯科を分けて収支状況などの資料を出して再度検討させていただきたい。
- ② これ以上無いような経営実績を残されていると思う。今後の返済を考慮して、大学病院の収支バランスは非常に難しいが、今の収支バランスは大学病院として満足できるものなのか。手術を増やすと、内科系診療科の入院をある程度制限することになるが、対応可能なのか。働き方改革の現状と今後に関して、取り組む方向性が明確になっていたら伺いたい。
- ③ 2014年の赤字がドラスティックに黒字にされ凄いなと思った。自分が鹿児島大学病院に入院した際に、同じような書類を 20 枚以上書いた。また、確認用のリストバンドも付けているのに何回も確認された。それらを減らすだけで、職員も患者も楽になるのではないか。医療コンサルタントを利用し問題点の調査や提案等を受けても良いのではないか。患者が意見を言いやすい窓口を作り、その意見で病院を改善していくことが早道ではないか。
- ④ 民間の企業、病院の分析に近いぐらい細かい分析をしている。ベッドの稼働のための空床確認等素晴らしい手法を取り入れている。最後はどこまでセグメンテーションして分析をしていくかだと思う。地域医療にどう貢献するか、学生に対して中長期的な教育活動の中でしっかりと位置づけられているか、最先端の研究に資するところをどうするのか。
- ⑤ 非常にきめ細かく分析しており、その結果、病床稼働率がトップクラスになっているのではないか。ただし、手術件数は下の方であり要因は様々あると思うが、スタッフ不足も要因の一つになっているのではないか。
- ⑥ 離島へき地等抱えている鹿児島では、人口減の中でどのようにしてこれからの医療を支えていくかが非常に大きな問題である。地域枠の学生達のキャリアアップを図りながら地域の医療をどう担保していくかも是非考えていただきたい。IT活用は今後必要であるし、遠隔の診療も増えていくと思う。大学にそのようなセンター等作り、例えば地域枠の学生が離島へき地等行った際に、直接大学に相談できる体制作り等、将来の計画を立てていただければ大変ありがたい。

最後に伊牟田監事から、次のような意見があった。

・稼働率の目標が 95%というのは、非常に素晴らしいが、事故やインシデントが発生しないようにしていただきたい。

・医科は 2、3 診療科が赤字なのでどう改善していくか検討が必要。また、働き方改革等色々問題があるので、それも十分気を付けて欲しい。手術件数が少ないが、麻酔の対応等色々改善すれば医科は非常に良くなるのではないか。

・歯科は黒字が 2、3 診療科で後の診療科は赤字である。また人件費が医科と比べて高い。診

療科の統合等色々工夫をして人件費率を下げなければ黒字にならないのではないか。

・ A棟の建設が始まるので、施設部、病院及び施工業者と意思疎通を図り、病院の患者や利用者の意向を良く聴き、A棟の再開発を始めたら良いと思う。

その他

次回（定例）は、令和2年1月23日（木）13時30分からとなった。